

営農だより 野菜版 11号

JAふじ伊豆御殿場営農経済センター
2022年(令和4年)9月5日発行

☆適期管理・適期防除・適期収穫で品質の良い野菜を栽培しよう!!

台風対策

台風の被害軽減の為に、事前対策及び事後対策をしっかりと行いましょう!

9月は最も台風の上陸数が増えます。天気予報に注意し早めの**排水対策を徹底**して下さい。また、**台風が去った後にも対策を講じ**、被害を最小限に抑えましょう!!

1. 事前対策

- 排水対策**: 畑が水没しないよう**鍬やスコップ、管理機を使って明渠を作る**。大雨で畑に水が溜まり、病気が発生するのを防ぐ。
- 土寄せ**: ブロッコリーやネギ等は強風で煽られ曲がったり折れたりするのを防ぐ為、**土寄せを行い株元がふらつくのを防ぐ**。
- 畝に固定**: 丈の低い野菜は不織布や防虫ネット等をややきつめに張って、杭やUピンで固定し強風に煽られるのを防ぐ。
- 支柱の強化**: トマトやナス等の仕立てで使用している**支柱の結束点を縛り直したり、支柱を追加したりする**などして強化を図る。
- 事前に収穫**: トマトやナス等は、台風の強風で実に傷が付くので、**事前に収穫**する。

土寄せ



2. 事後対策

台風の後は見回りを行い、土がある程度乾くまで様子を見ます。但し、畑にずっと水が溜まっていると株を枯らし、病気発生の原因になる為、水はけの悪い畑はすぐに溝を掘って排水します。

- 乾いてから作業**: 土がぬかるんでいる時に作業すると、**土を踏み固めて根を傷める原因となる為、土がある程度乾くまで待つ**。
- 株を立て直す**: 株が倒れた場合でも殆どの野菜は自力で起き上がる為、無理に起こさない。自力で**起き上がれないと判断した場合に株元に土寄せ**をしまっすぐにする。
- 薬剤の散布**: 台風の後湿度が高く病気が発生しやすくなる為、収穫前日数に注意して薬剤を散布し病気を予防する。

《発生が予想される病気》

べと病: 発病適温は8~18℃。多湿条件下で発生が多発し降雨等の水たまりから感染。**1週間程度で畑全体に広がることもある**。外葉の葉脈間に、淡褐色、不整形でやや凹んだ病斑を形成し、裏面に汚白色、霜状のかびを生じる。**キュウリ等のべと病斑ほど明瞭ではない為、注意が必要**。

【キャベツの防除例】ダコニール1000は様々な作物に使用可能ですが、**使用回数・収穫前使用日数が作物によって異なる**ので、使用方法を熟読の上、使用して下さい。

薬剤名	対象病害	倍率	1a当り使用液量	使用回数	収穫前	価格(税込み)
ダコニール1000	べと病、根朽病	1,000倍	10~30ℓ	2回以内	14日前まで	980円(250ml)

令和4年度農業振興支援事業のご案内

~野菜・果樹の生産量向上に
お役立て下さい!~

1. 事業目的

JAふじ伊豆御殿場地区本部管内組合員の農業経営における経営改善に対し補助を行い、生産コストの低減、栽培管理の効率化と栽培環境の整備、農業経営の継続を支援し、地域農業の活性化を図る。

2. 補助内容

No.	事業名	補助率	補助金限度額	予算額
1	ハウス建設支援事業	50%	20万円	100万円
2	鳥獣被害対策支援事業	50%	5万円	20万円
3	キウイフルーツ棚建設支援事業	50%	20万円	20万円
4	自然災害に伴うハウス緊急支援事業	50%	20万円	—

3. 対象者

- 【第1条件】 JAふじ伊豆御殿場地区本部管内の組合員(正組合員、准組合員)。
 - 【第2条件】 ファーマーズ御殿場・JAふじ伊豆御殿場地区本部が出荷を管理する農産物直売所会員、野菜・果樹類の生産部会等の会員。
 - 【第3条件】 継続的にJAふじ伊豆御殿場地区本部に農産物を出荷する者。
- ※第1~3までの条件をすべて満たしている生産者が対象となります。但し、自然災害に伴うハウス緊急支援事業については【第1条件】を満たせばよいものとする。

4. 事業内容 ※1、2、3の事業につきましては、建替えは対象となりません。

No.	事業名	事業内容	事業要件
1	ハウス建設支援事業	JAふじ伊豆御殿場地区本部が認めたハウスの新規導入または増設する場合は経費の一部助成。	①新規によるハウス導入または増設。 ②1人当り上限2棟まで可。 (但し、複数年で2棟とする) ③ハウス規模は10坪以上とし、耐雪ハウスとする。
2	鳥獣被害対策支援事業	電気柵等の一定の経営上の効果が見込まれる鳥獣被害対策経費の一部助成。	1人当り上限2圃場まで可。 (但し、複数年で2圃場とする)
3	キウイフルーツ棚建設支援事業	キウイフルーツ棚の新規に導入または増築する場合は経費の一部助成。	①新規による導入または増築。 ②1人当り上限2圃場まで可。 (但し、複数年で2圃場とする)
4	自然災害に伴うハウス緊急支援事業	地域に甚大な自然災害により被害を受けたと判断される場合に農産物の生産・加工に必要なハウスの再建、修繕に係る費用について一部を助成するものであり、営農を再開する農業者への支援とする。本事業の実施については御殿場地区本部長が決定する。	①対象は、農産物の生産・加工に必要なハウス(ビニルハウスを含む)の再建、修繕にかかる費用とする。 ②ハウスの強度の向上や規模拡大等を行うことも可能だが、原形復旧を超える部分の費用は、助成対象外とする。 ③被災地での再建が困難な場合、場所を移動して再建することも可能とする。 ④公的補助金及び農業共済金の対象となる場合、その補助金額を控除した費用を助成対象とする。 ⑤ハウスの設置場所、設置方向、補強、防風ネットの設置など再発防止対策に努めること。

※補助対象事業費は設備資材の費用とし、工事費・搬入費・設置費等の施工費及び消費税は対象外とする。

葉ネギの栽培

～気候が穏やかになる9月頃が播種の適期です。
寒さに強く収穫期間も長いので、栽培に挑戦してみてください！～

1. 特徴

乾燥には比較的強いですが、過湿には極めて弱くなります。**排水対策を忘れないように**しましょう。また、根が浅く、肥料障害を受けやすいため**多施肥を避けて下さい**。

- ①発芽適温：15～25℃（30℃以上の高温だと発芽不良になりやすい）
- ②生育適温：15～20℃

2. 施肥

	資材名	1a当り施肥量	価格（税込み）	備考
堆肥	牛ふん堆肥	150kg	530円(15kg)	定植の1ヶ月前に施用
元肥	富士高原有機ペレット(鶏糞)	50kg	298円(15kg)	播種時に施用
	粒状ようりん	10kg	2,840円(20kg)	
	園芸化成s550	10kg	4,590円(20kg)	
追肥	園芸化成s550	4kg	4,590円(20kg)	

3. 播種

- ①管理機等でなるべく深く耕運する。
- ②元肥を（ようりん→堆肥→園芸化成s550→富士高原有機ペレット）の順で施用。
- ③畝の高さ10cm、幅60cmとし条間を10～15cm取る。
- ④まき溝を作り、1cm間隔程度で播種をする。まき溝に筋まき。
- ⑤覆土をかける。（1cmくらい）
- ⑥鎮圧する。（発芽後は本葉が2～3枚になるまでに2cm間隔に間引きをする）

4. 追肥

発芽後、草丈が2cm程度になったら、雑草を取り除き追肥する。

5. 防除

さび病：気温が15～20℃の春と秋に発生。24℃以上では発病しない。葉や花茎の表面にオレンジ色の小さな楕円形の斑点を形成し、発病が激しいと葉全体に病斑が生じ、葉は黄白色になり枯死する。**多雨や、チッソ過多の場合に多発する**。病斑を見つけたら、薬剤散布を行い初期防除に努める。

ネキリムシ：葉が株元から切り取られて食われる。食い残された葉は地面に散乱し萎びる。**幼虫は夜行性で、昼間は土中に潜っていて見つからない**為、注意が必要。

アザミウマ：成虫・幼虫が葉の汁を吸い、その部分の色が抜けて白くなる。多発すると葉全体の色が抜け白っぽく見える。

【防除例】 ●は毒劇物の為、購入の際は印鑑(認め印)・身分証明書を持参して下さい。

薬剤名	対象病虫害	倍率	1a当り使用量	使用回数	収穫前	価格（税込み）	毒劇物
アミスター20フロア	さび病等	2,000倍	10～30ℓ	4回以内	3日前まで	3,550円(250ml)	
ガードバイトA	ネキリムシ類	—	300g	生育初期に株元散布使用回数3回以内		1,070円(2kg)	
アグロスリン	アブラムシ類	2,000倍	10～30ℓ	5回以内	7日前まで	990円(100ml)	●
モスピラン顆粒水	アザミウマ類	2,000倍	10～30ℓ	3回以内	7日前まで	1,750円(100g)	●

コマツナの周年栽培

～コマツナは周年で栽培できます。キスジノミハムシの多い畑を避け、周年栽培に挑戦してみてください！～

1. 施肥

	資材名	1a当り施肥量	価格（税込み）	備考
堆肥	牛ふん堆肥	100kg	530円(15kg)	播種の2週間前に施用
土壌改良剤	米ぬか	18kg	—	
	粒状石灰窒素	3kg	3,260円(20kg)	
	粒状アヅミン苦土石灰	9kg	1,120円(20kg)	
元肥	味好1号	10kg	3,320円(20kg)	播種の1週間前に施用

2. 播種

条間15～20cmの条まきで1cmぐらいの深さのまき溝を切って種を1cm間隔程度にまく。その後、覆土を1cmとし**土壌水分が逃げないように鎮圧**をする。播種後は乾燥や強い雨などを防ぐ為に、ベタがけ資材などを利用すると効果的。

3. 間引き

コマツナは光を好むので、株間を広げると大株になり品質も向上する。その為、**葉と葉が触れ合うタイミングで間引き**を行い、遅れないように注意する！

間引き1回目：子葉が展開した頃、厚まき部分を間引きする。**子葉の形がハート形のものを残し、大きすぎるものや小さいものを優先して間引き**する。

間引き2回目：播種後15日程度で本葉が2～3枚展開し、間引きする。**この時期の生育の良し悪しで、栽培の8割が決定する**。この時期に収穫までに出る葉（本葉8～9枚目まで）が成長点に分化し終えている為、間引きをこの時期までに行わないと、コマツナは光不足となって軟弱徒長する。株間を4～5cmになるように最終間引きを行う。

1回目は子葉が開いたとき。株間2cm程度に間引きする。

2回目は本葉2～3枚のとき。最終株間は4～5cm程度。

4. 防除

薬剤の散布で**早めの防除**を心掛ける。また、害虫は見つけしだい**捕殺するか、寒冷紗などのトンネル被覆**を行い物理的な防除も行う。

キスジノミハムシ：成虫は3mm程度の黒褐色で黄色の筋がある。葉の表面に丸い穴を空ける。また、幼虫は根を食べる。毎年発生する畑では、**播種時に農薬をまくのが効果的**。**ダイコン、ハクサイ等のアブラナ科野菜に発生するので注意**する。

【防除例】 ●は毒劇物の為、購入の際は印鑑(認め印)・身分証明書を持参して下さい。

薬剤名	対象害虫	倍率	1a当り使用量	使用回数	収穫前	価格（税込み）	毒劇物
フォース粒剤	キスジノミハムシ	—	400g	使用回数1回で播種時に全面土壌混和		2,450円(3kg)	●
コテツフロアブ	コナガ・アオムシ	2,000倍	10～30ℓ	1回	3日前まで	2,080円(100ml)	●